

日本英学史学会 中国・四国支部

平成26年度 第2回 (通算71回) 研究例会 (高松研究例会) プログラム

日時：平成26年12月13日(土) 13:00 受付開始
会場：香川大学教育学部 第3会議室 (教育学部2号館2階)
〒760-8522 香川県高松市幸町1-1 電話: 087832-1523 (竹中研究室)
共催：香川大学教育学部

開会行事 (14:00-14:05) 支部長挨拶 田村道美 (香川大学名誉教授)

研究発表① (14:05-15:15)

「漱石と The Lotus Library (4) —The Nabob の書き込みを中心に—」

田村道美氏 (香川大学名誉教授)

明治期後半に輸入された英語の廉価版叢書のひとつに The Lotus Library がある。漱石蔵書中に本叢書が11冊あり、内6冊の見返しや本文余白に書き込みがある。これまでに Alphonse Daudet の *Sapho*, Edmond de Goncourt の *La Faustin*, Guy de Maupassant の *A Woman's Soul* の3作品の書き込みについて解明してきた。本発表では A. Daudet の *The Nabob* を取り上げ、漱石の書き込みについて考察する。また、出版社や装幀等の異なる3種類の The Lotus Library が存在する理由についても究明してみたい。

(休憩 15:15~15:30)

研究発表② (15:30-16:40)

「中浜万次郎が果たした教育的役割 —開成所から開成学校を中心に—」

松岡博信氏 (安田女子大学)

嘉永4年(1851年)、米国より帰国したジョン万次郎は、幕末から明治にかけての英学史に大きな足跡を残した。本場仕込みの通訳者としての活躍のみならず、教育者としての功績も大きいと思われる。特に、江戸幕府の開成所からその後の明治政府の開成学校において教授として勤務した頃が、彼の教育における活躍の中心的時期であったように思われる。本発表では、開成所および開成学校における教授陣および教授内容に触れ、彼が幕末から明治にかけての激動の時代に、幕府や明治政府が設立したこれらの学校でいかなる教育的役割を担い、また実践していったのかを探る。

閉会行事 (16:40-17:00) 副支部長挨拶 竹中龍範 (香川大学)
写真撮影

忘年懇親会 (18:00-20:00)

問合せ先 日本英学史学会中国・四国支部事務局
〒727-0023 広島県 庄原市七塚町 562 県立広島大学 馬本研究室内
メールアドレス: eigaku@tom.edisc.jp
FAX 番号: (0824) 74-1725 電話: 090-1335-6933